

みんなで創る 庭塚小学校

～教育目標：自ら学び 心豊かに たくましく歩む子どもの育成～

来年度4月からの庭塚小学校の教育「令和3年度 教育計画作成」

全教職員が本気で考えています！

3学期になったばかりですが、一方で、わたくしたち教職員は、来年度4月からの庭塚小学校の教育について、計画を立てる会議を開始しました。庭塚小学校の子供たちが、「解のない時代をたくましく生き抜く力」を身に付け、発揮するためには、どうするか。すべての子供にとって、庭塚小学校が安心安全な居場所になるために更に改善することは何か。地域の宝である庭塚小学校を地域・保護者・子供・教職員みんなで創る学校にするためには、どんな方法があるのか。本気で考え話し合っています。

＜考慮していること＞

- 目の前の子供の姿を大切にする。
- 子供が子供の中で育つことを重視する。
- 実効性・具体性のある計画を立てる。
- 前例にとらわれず、改善・削減を恐れない。
- 全教職員で、忖度なしで意見を出し合う。
- 知・徳・体グループ、young・middle・expert チーム、
低中高ブロックなどメンバーをかえて話し合う。
- 新型コロナウイルス感染が収束しないことも想定する。など



自分の考えをもつ力

協働的に取り組む力

を發揮！

6年生「自分たちの卒業式」

感染予防をしながら、どんな思いを持って、どのような卒業式にするのか。6年生は、思考ツールを使いながら話し合っています。「卒業式」があるから実施するのではなく、「なぜ」「どんな気持ちで」と目的から話し合っています。

1年生「新入生交流会のかわりにできること」

新入生説明会は、保護者だけの参加で、例年行っていた「新入生交流会」が中止となり、1年生は、代わりに何ができるかについて、考えました。『優しい人ばかり』『安心してきてね』『みんな待ってるよ。』と伝えたい。「手紙を書きたい。」「絵をプレゼントしたい。」想いがあふれた意見ばかりでした。



【想いがあふれた1年生の意見】

チェック！言葉

新型コロナウイルス感染の収束が見えない閉塞感で保護者の皆さんの心も体も疲れているのではないのでしょうか。こういう時だからこそ、子供への「言葉」「態度」には気を付けたいものです。

子どもがやる気を失う言葉3

□「勉強しなさい」連呼する。

子どものやる気が出る言葉10

□ 大好きだよ。

□「～はできるのに」比較する。

□ ありがとう。

□「どうせできない」否定する。

□ へえーそうなんだ。(話を聞く)



□ 頑張ってるね。または 頑張ったね。

□ ドンマイ！（次、行こう！）

□ あなたなら、やれる。大丈夫。

□（結果を気にせず）楽しもう！

子供も一人の人間です。しつこくとした「言葉の暴力」は心(脳)を傷けます。

□ やったね！

□ すごいね！

□ ナイストライ！（いい経験になったね）

※コロナウイルス感染拡大に伴い、不安やご心配な点など、遠慮なくご相談ください。お待ちしております。